

編 集 後 記

今年は3月11日の東日本大震災、大津波、原発事故と歴史を変える、苦難の始まりの年となりました。島根医学 Vol.31 No.3 をお届け致します。今月号には医学・医療の各分野からレベルの高い論文が投稿されています。

生涯教育講座では本間良夫先生から最近のトピックであるがん幹細胞の概念とそれを標的とするがん治療戦略が述べられており、今後のがん化学療法などの基礎理論として有益です。森田栄伸先生の論文は食物アレルギーには運動によって誘発される特殊病型があるとの報告で、診断から治療、予防と生活指導まで言及されており、学校保健の現場で大いに参考となります。

泉信夫先生の総説は昨春市販された肺炎球菌結合ワクチン (PCV7) を乳児期早期に使用することで、細菌性髄膜炎などの侵襲性疾患のみならず、急性中耳炎の反復性になる率を大きく低下させ、コストの削減効果が大きいとの貴重な論考です。

臨床・研究としては常位胎盤早期剥離による重症新生児仮死の救命例、ウイルス重複感染肝硬変症に発症した化膿性脊椎炎例、右前腕の異物性肉芽腫の1例、膀胱パラガングリオーマの症例報告と、HbA1c 10%以上高値例についての検討と県下の新生児聴覚スクリーニングの課題についての報告です。いずれも興味深いテーマであり御一読をお願いします。

(M. N)

島根医学編集委員

岩本正敬， 貴谷 光， 錦織 優， 児玉和夫， 葛尾信弘，
森本紀彦， 浅野博雄， 木下芳一， 佐藤比登美， 小林祥泰，
中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成23年9月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会

編 集 益田市乙吉町
編集者 岩本正敬発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所